

連絡先:総務部情報通信課

専門官 大久保 朋美 (おおくぼ ともみ)

電話:03-3591-9700 (直通、FAX 兼用)

03-3591-6361 (内線 2904)



平成 21 年 8 月 20 日

海上保安庁

## コスパス・サーサット北西太平洋地域会議の開催について

海上保安庁では、海洋政策研究財団の平成 21 年度海外交流基金により、北西太平洋地域においてコスパス・サーサットシステムを構成する、日本、中国、香港、韓国、台北及びヴェトナムの各国・地域の業務管理センター(MCC)関係者等を招き、システムの運用及び技術に関する諸問題を検討するため、コスパス・サーサット地域会議を開催します。

コスパス・サーサットシステムは、遭難者が発した位置等の情報を衛星経由で捜索救助機関へ配信する全世界的な捜索救助システムです。

このシステムでは世界を6つの地域に分け、地域内の業務管理センター(MCC)に対する遭難警報データの配信、運用指導・調整等を実施するための機関として、各地域に基幹業務管理センター(基幹MCC)を配置しています。わが国(当庁)はそのうちの1つ、北西太平洋地域の基幹MCCであることから、地域内のシステムの更なる向上と他地域との協調を目的に、同地域における運用・技術に関する諸問題の解決のため、各MCC担当官等を日本へ招へいし、「コスパス・サーサット北西太平洋地域会議」を開催します。

1 期日 平成 21 年 8 月 26 日 (水) 09:00~17:00

27 日 (木) 09:30~16:30

(中央合同庁舎 3 号館 11 階海上保安庁会議室)

### 2 主要議題 (別紙参照)

- (1) QMS の導入について
- (2) 基幹 MCC のバックアップについて
- (3) MEOSAR システムの導入について

### 3 出席予定者

- (1) 中国、香港、韓国、台北、ヴェトナム MCC 関係者  
コスパス・サーサット副事務局長
- (2) 海上保安庁 情報通信課  
課長 中嶋 哲雄  
企画官 粟井 次雄  
専門官 大久保 朋美  
管理係 坂本 伸男  
運用司令センター 主任衛星情報解析運用官 桜井 勝利  
衛星情報解析運用官 徳峯 裕一朗 他

### 4 取材関係

- (1) 26 日 (水) 朝の会議冒頭 (10 分程度) は、取材が可能です。
- (2) 取材希望の方は、25 日 (火) 17:00 までに情報通信課へご連絡ください。

## 主要議題

### 1 QMS の導入について

国際会議において遭難者が発した位置等の情報をより正確に、より素早く捜索救助機関に伝送するために、コスパス・サーサットシステムに QMS (Quality Management System: 品質管理システム) を導入することが決定されたため、地域内における QMS のための対応をどのように実施するか、システム改修を含んだハード面、どのように運用を実施するかといったソフト面両面につき、討議し、方向付けを行う。

### 2 基幹 MCC のバックアップについて

基幹 MCC のシステムに障害が発生した場合、各 MCC からの遭難情報が送信できなくなり、捜索救助活動に悪影響を与えることになる。そのため、日本の MCC (JAMCC) システム障害時には、バックアップとして、アメリカの MCC (USMCC) へ遭難情報を送信することとなっている。

今会議では、アメリカから提案された USMCC と地域内の MCC との間でのバックアップ試験について、実施に向け具体策を検討する。

### 3 MEOSAR システムの導入について

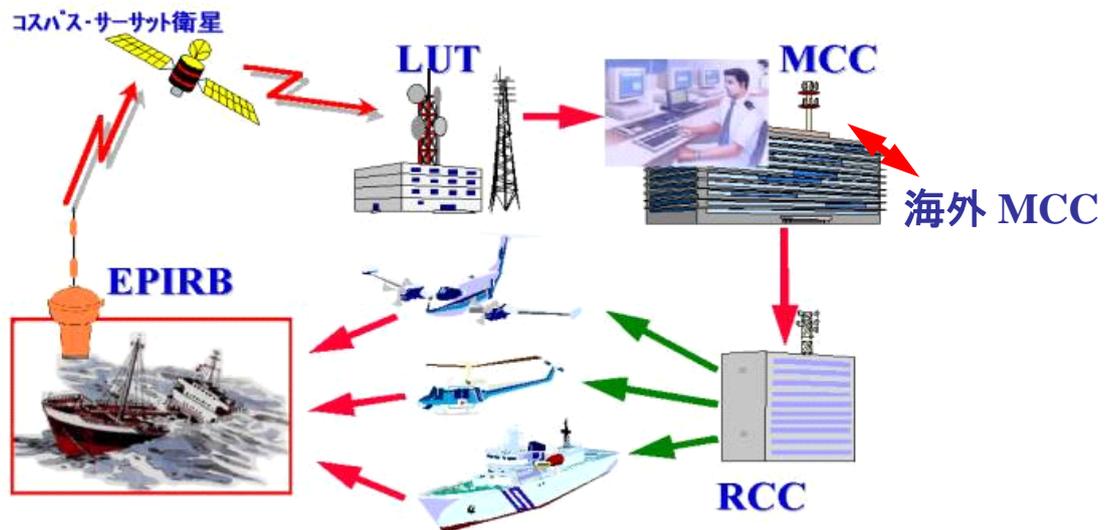
MEOSAR (中軌道衛星) システムは、コスパス・サーサットが導入を進めている次世代の人工衛星システムである。

現行の LEOSAR (低軌道衛星) システムは、遭難者が発した位置を特定するための衛星処理に最長 2 時間も必要となることがあったが、MEOSAR システムでは即時に位置を特定することができ、また位置精度も向上する。

北西太平洋地域も、この新システムへのスムーズな移行ができるよう、今会議において、MEOSAR についての理解を深めると共に、導入について検討する。

\*1 コスパス・サーサット

コスパス／サーサット衛星等によって遭難者を迅速に発見し、救助するための国際協定を締結した国々によって設立された国際機関（38 カ国及び2 機関が参加）。我が国は、平成5年から地上部分提供国として参加しています。



\*2 業務管理センター (MCC : Mission Control Center)

コスパス・サーサットにおいて、遭難警報データを捜索救助機関や海外 MCC 等の関係機関に配信する機関。

海上保安庁警備救難部運用司令センターにある我が国 MCC (JAMCC) は、世界に6カ所 (日本・アメリカ・ロシア・フランス・オーストラリア・スペイン) 指定された基幹 MCC のうちのひとつとして、基幹 MCC 間でデータ交換を行うとともに、北西太平洋地域 (日本・韓国・中国・香港・台北・ヴェトナム各国・地域) 内の MCC に対し、データ配信を行う責任を有しています。

